

未来が下り坂に見えてくると、今、生きていることが楽しめないのです。

私はルー大柴さんと一緒にラジオ番組をやっていました。

ルーさんは私の5歳上で、石田純一さんと同い年です。

石田純一さんとルー大柴さんを前にすると、5年後はけっこう楽しそうだなと思えました。

奥田瑛二さんも私より9歳年上ですが、楽しんでいて、カッコいいのです。

世の中全体の比率は関係ありません。

そういう人が1人でも2人でもいることで、自分自身の今が楽しくなり、その年代に向かって歳をとることが楽しくなります。

子どもが大人を見て「早く大人になりたい」と思えるような社会が、子どもたちが豊かに育っていく社会です。

「大人になったら大変だな」と思わせたら、子どもたちは育つのがイヤになって、幼児化現象が進むのです。

社会人にも同じような現象が起こっています。

年上の人は、年下の人に楽しんでいるところを見せたほうがいいのです。

年下の人は、より楽しんでいる年上の人を見ることが大切です。

歳をとることがつらいのは、楽しんでいる人もいるのに、つらい人だけを見ているからです。

40代で楽しそうな人たちは、どこかに必ずいます。

身のまわりにはいないのは、まわりには同じレベルの人しかいないからです。

40代をもっと楽しむためには、みずから動いて、そういう人たちを探しに行くことが大切なのです。

40代を
楽しむ方法
01

楽しんでいる先輩を見つけよう。